

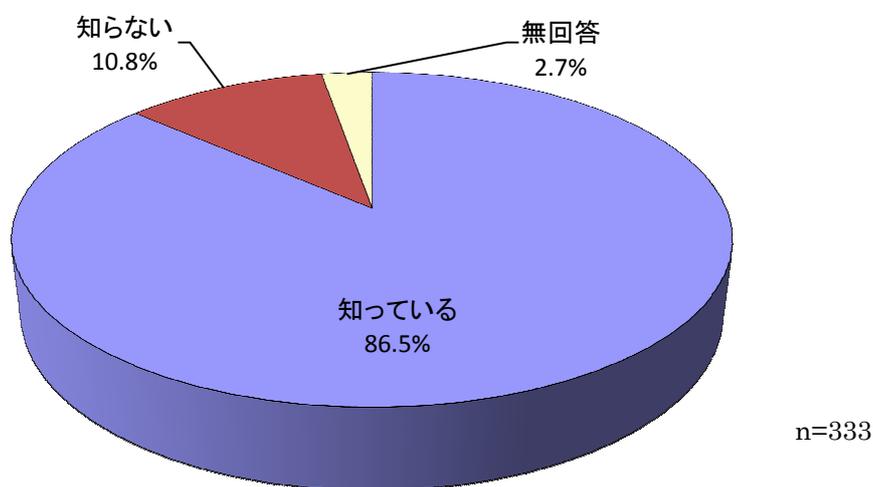
10. 宇都宮市の住宅用火災警報器について

(1) 全ての住宅等に住宅用火災警報器の設置義務の認知度

◇ 「知っている」が8割半ば超え

問28	全ての住宅等に『住宅用火災警報器』の設置が義務付けられたことを知っていますか。 ※市内のすべての住宅（一般住宅、共同住宅、店舗併用住宅等）に平成21年6月1日から設置が必要です。（○は1つ）	n=333
1	知っている	86.5%
2	知らない (無回答)	10.8% 2.7%

<図IV-10-1>全体



全ての住宅等に住宅用火災警報器の設置が義務付けられたことを知っているかについては、「知っている」が86.5%で、認知度の高さが見受けられる。一方、「知らない」が10.8%となっており、1割の方が設置義務を知らなかったことがわかった。（図IV-10-1）性・年齢別で見ると、「知っている」は<男性/20歳代>、<女性/20歳代>を除く全ての年代で8割を超え、<女性/30歳代>は100.0%となっており認知度の高さが見受けられる。

一方、「知らない」は<女性/20歳代>が46.2%、<男性/20歳代>が33.3%となっており、男女共に20歳代の認知度の低さが見受けられる。（図IV-10-2）

居住地域別で見ると、「知っている」は<本庁（周辺）>で94.4%と最も多くなっているが、全ての地域で8割を超えている。（図IV-10-2）

【性・年齢別/居住地域別】

選択項目		知っている	知らない	無回答	合計
全体	人数	288	36	9	333
	構成比	86.5%	10.8%	2.7%	100.0%
【性・年齢別】					
男性(計)	人数	124	15	1	140
	構成比	88.6%	10.7%	0.7%	100.0%
20歳代	人数	6	3	0	9
	構成比	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%
30歳代	人数	20	2	0	22
	構成比	90.9%	9.1%	0.0%	100.0%
40歳代	人数	22	2	0	24
	構成比	91.7%	8.3%	0.0%	100.0%
50歳代	人数	17	2	0	19
	構成比	89.5%	10.5%	0.0%	100.0%
60歳代	人数	32	5	0	37
	構成比	86.5%	13.5%	0.0%	100.0%
70歳以上	人数	27	1	0	28
	構成比	96.4%	3.6%	0.0%	100.0%
女性(計)	人数	164	21	6	191
	構成比	85.9%	11.0%	3.1%	100.0%
20歳代	人数	7	6	0	13
	構成比	53.8%	46.2%	0.0%	100.0%
30歳代	人数	32	0	0	32
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
40歳代	人数	27	5	0	32
	構成比	84.4%	15.6%	0.0%	100.0%
50歳代	人数	38	7	1	46
	構成比	82.6%	15.2%	2.2%	100.0%
60歳代	人数	31	2	0	33
	構成比	93.9%	6.1%	0.0%	100.0%
70歳以上	人数	29	1	5	35
	構成比	82.9%	2.9%	14.3%	100.0%
【居住地域別】					
本庁(都心)	人数	39	7	0	46
	構成比	84.8%	15.2%	0.0%	100.0%
本庁(周辺)	人数	68	3	1	72
	構成比	94.4%	4.2%	1.4%	100.0%
東部地域	人数	38	5	1	44
	構成比	86.4%	11.4%	2.3%	100.0%
西部地域	人数	39	6	2	47
	構成比	83.0%	12.8%	4.3%	100.0%
南部地域	人数	34	5	2	41
	構成比	82.9%	12.2%	4.9%	100.0%
北部地域	人数	29	4	2	35
	構成比	82.9%	11.4%	5.7%	100.0%
上河内・河内地域	人数	28	4	0	32
	構成比	87.5%	12.5%	0.0%	100.0%

<図IV-10-2>性・年齢別/居住地域別

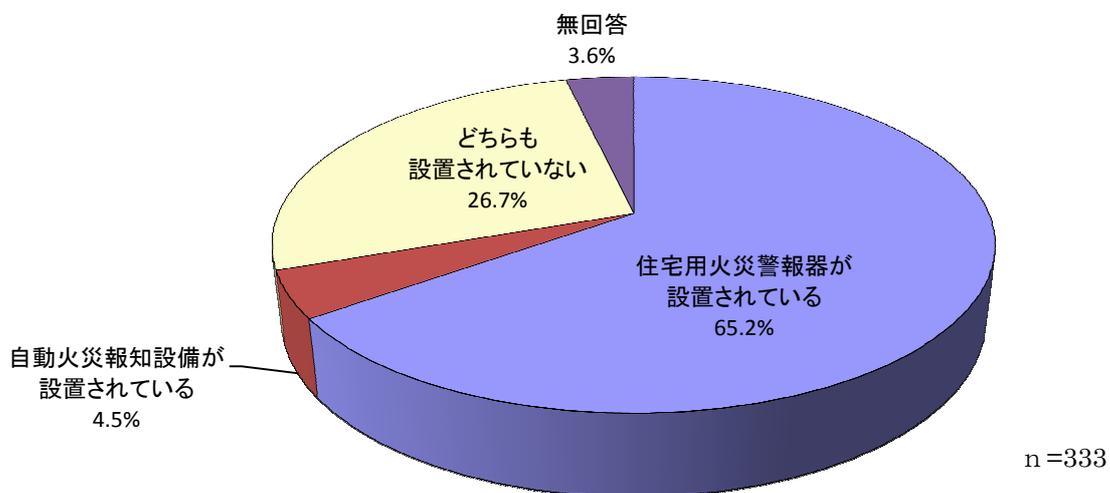


(2) 住宅用火災警報器の設置状況

◇ 「住宅用火災警報器または自動火災報知設備」が設置されているが7割

問29 現在、自宅に『住宅用火災警報器または自動火災報知設備』が設置されていますか。 (○は1つ)	n=333
1 住宅用火災警報器が設置されている	65.2%
2 自動火災報知設備が設置されている	4.5%
3 どちらも設置されていない	26.7%
(無回答)	3.6%

<図IV-10-3>全体



自宅への住宅用火災警報器または自動火災報知設備が設置されているかについては、「住宅用火災警報器が設置されている」(65.2%)と「自動火災報知設備が設置されている」(4.5%)を合わせると約7割であった。(図IV-10-3)

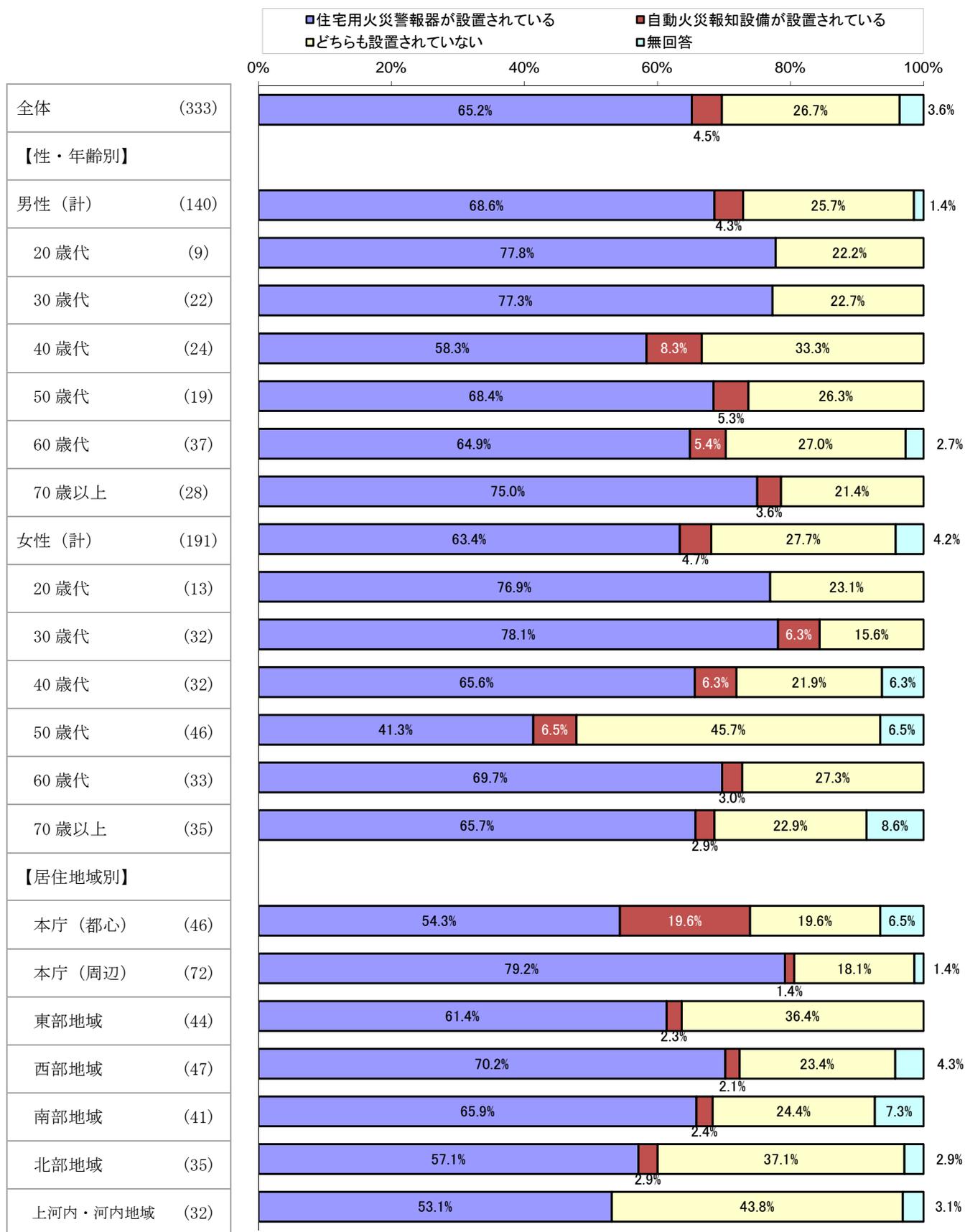
性・年齢別で見ると、「住宅用火災警報器が設置されている」は<女性/30歳代>が78.1%と最も多く、次いで<男性/20歳代>が77.8%であった。一方、「どちらも設置されていない」は<女性/50歳代>が45.7%と最も多かった。(図IV-10-4)

居住地域別で見ると、「住宅用火災警報器が設置されている」は全ての地域で5割を超えており、<本庁(周辺)>では79.2%と最も多かった。「自動火災報知設備が設置されている」は<本庁(都心)>が19.6%で、他の地域と比べて高い割合になっている。一方、「どちらも設置されていない」は<上河内・河内地域>が43.8%と最も多かった。(図IV-10-4)

【表：性・年齢別/居住地域別】

選択項目		住宅用火災警報器が 設置されている	自動火災報知設備が 設置されている	どちらも設置 されていない	無回答	合計
全体	人数	217	15	89	12	333
	構成比	65.2%	4.5%	26.7%	3.6%	100.0%
【性・年齢別】						
男性(計)	人数	96	6	36	2	140
	構成比	68.6%	4.3%	25.7%	1.4%	100.0%
20歳代	人数	7	0	2	0	9
	構成比	77.8%	0.0%	22.2%	0.0%	100.0%
30歳代	人数	17	0	5	0	22
	構成比	77.3%	0.0%	22.7%	0.0%	100.0%
40歳代	人数	14	2	8	0	24
	構成比	58.3%	8.3%	33.3%	0.0%	100.0%
50歳代	人数	13	1	5	0	19
	構成比	68.4%	5.3%	26.3%	0.0%	100.0%
60歳代	人数	24	2	10	1	37
	構成比	64.9%	5.4%	27.0%	2.7%	100.0%
70歳以上	人数	21	1	6	0	28
	構成比	75.0%	3.6%	21.4%	0.0%	100.0%
女性(計)	人数	121	9	53	8	191
	構成比	63.4%	4.7%	27.7%	4.2%	100.0%
20歳代	人数	10	0	3	0	13
	構成比	76.9%	0.0%	23.1%	0.0%	100.0%
30歳代	人数	25	2	5	0	32
	構成比	78.1%	6.3%	15.6%	0.0%	100.0%
40歳代	人数	21	2	7	2	32
	構成比	65.6%	6.3%	21.9%	6.3%	100.0%
50歳代	人数	19	3	21	3	46
	構成比	41.3%	6.5%	45.7%	6.5%	100.0%
60歳代	人数	23	1	9	0	33
	構成比	69.7%	3.0%	27.3%	0.0%	100.0%
70歳以上	人数	23	1	8	3	35
	構成比	65.7%	2.9%	22.9%	8.6%	100.0%
【居住地域別】						
本庁(都心)	人数	25	9	9	3	46
	構成比	54.3%	19.6%	19.6%	6.5%	100.0%
本庁(周辺)	人数	57	1	13	1	72
	構成比	79.2%	1.4%	18.1%	1.4%	100.0%
東部地域	人数	27	1	16	0	44
	構成比	61.4%	2.3%	36.4%	0.0%	100.0%
西部地域	人数	33	1	11	2	47
	構成比	70.2%	2.1%	23.4%	4.3%	100.0%
南部地域	人数	27	1	10	3	41
	構成比	65.9%	2.4%	24.4%	7.3%	100.0%
北部地域	人数	20	1	13	1	35
	構成比	57.1%	2.9%	37.1%	2.9%	100.0%
上河内・河内地域	人数	17	0	14	1	32
	構成比	53.1%	0.0%	43.8%	3.1%	100.0%

<図IV-10-4>性・年齢別/居住地域別

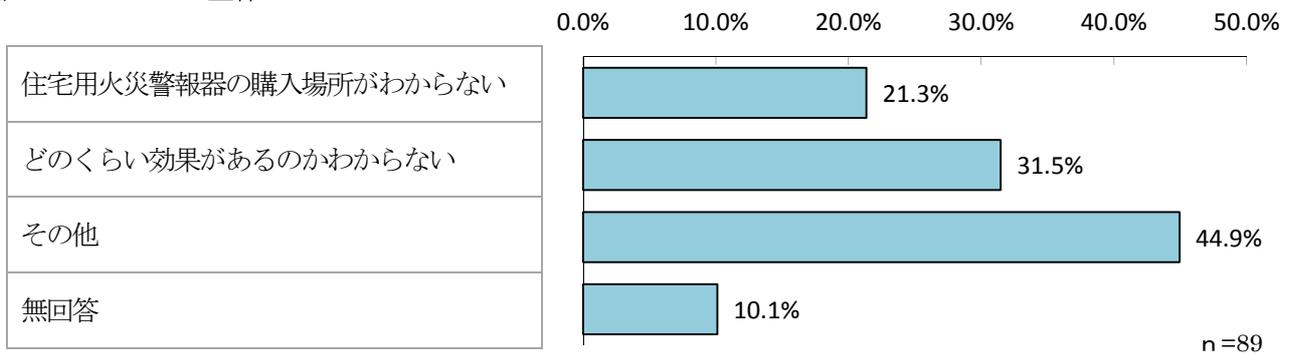


(3) 住宅用火災警報器を設置していない理由

◇ 「どのくらい効果があるのかわからない」が3割

『住宅用火災警報器等』を設置していない方に)		
問30	『住宅用火災警報器等』を設置していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)	n=89
1	住宅用火災警報器の購入場所がわからない	21.3%
2	どのくらい効果があるのかわからない	31.5%
3	その他	44.9%
	(無回答)	10.1%

<図IV-10-5>全体



住宅用火災警報器を設置していない理由については、「どのくらい効果があるのかわからない」が31.5%、「住宅用火災警報器の購入場所がわからない」が21.3%であった。

その他として「費用がかかる」、「設置したいがつい後になってしまう」という消極的な回答や「アパートで大家が設置していない」、「平屋のため、万が一の火災でも逃げられそうだから」、「必要だということを知らない」、「強制的と思っていない」など必要性を感じていない意見も見られた。(図IV-10-5)

性・年齢別で見ると、「どのくらい効果があるのかわからない」は<男性/40歳代>が50.0%と最も多く、<女性/60歳代>が44.4%であった。

(図IV-10-6)

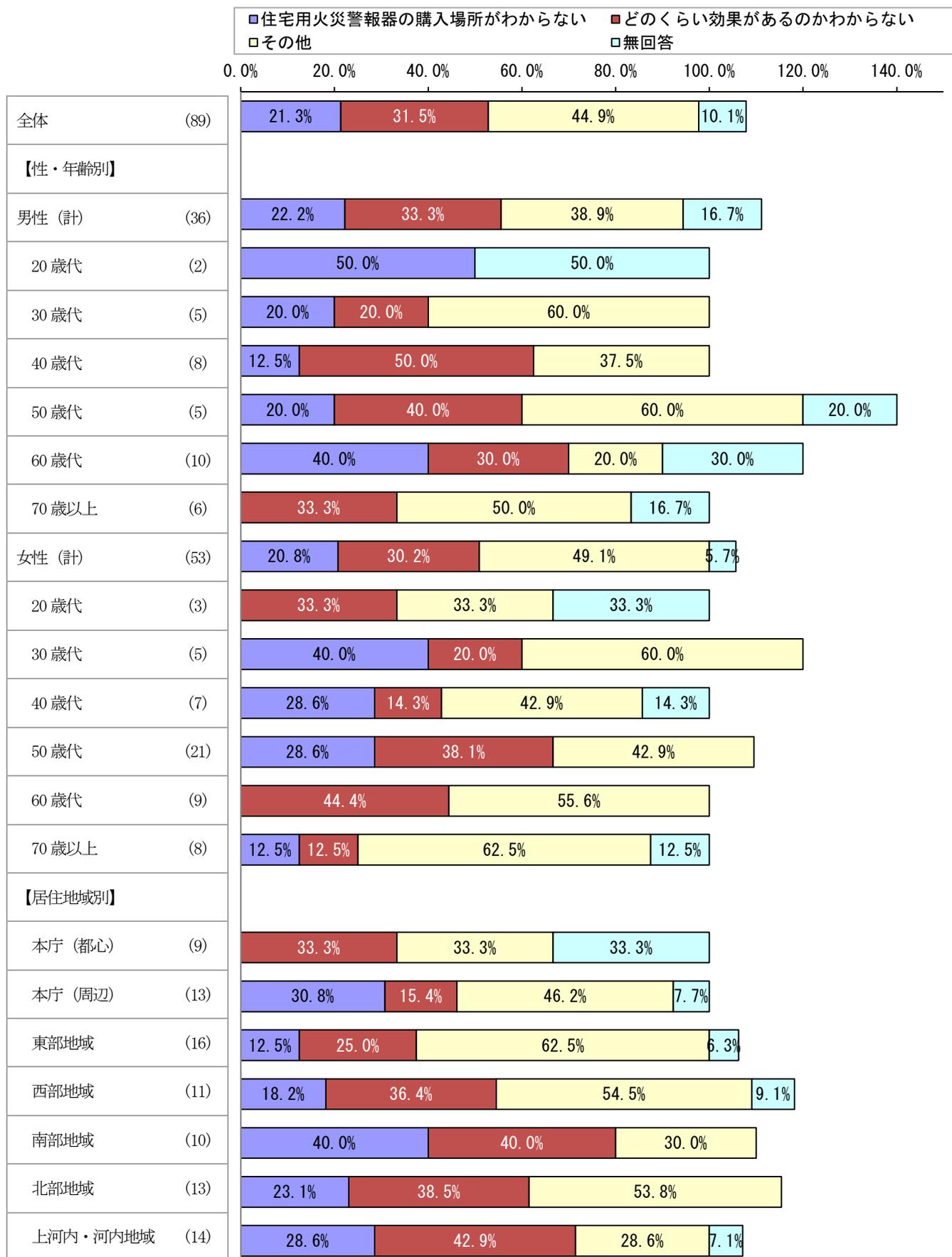
居住地域別で見ると、「どのくらい効果があるのかわからない」は<上河内・河内地域>が42.9%、<南部地域>が40.0%、<北部地域>が38.5%、<西部地域>36.4%と続いている。

(図IV-10-6)

【表：性・年齢別/地域別】

選択項目		住宅用火災警報器の 購入場所がわからない	どのくらい効果が あるのかわからない	その他	無回答	合計
全体 n=89	人数	19	28	40	9	96
	構成比	21.3%	31.5%	44.9%	10.1%	107.9%
【性・年齢別】						
男性(計) n=36	人数	8	12	14	6	40
	構成比	22.2%	33.3%	38.9%	16.7%	111.1%
20歳代 n=2	人数	1	0	0	1	2
	構成比	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
30歳代 n=5	人数	1	1	3	0	5
	構成比	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	100.0%
40歳代 n=8	人数	1	4	3	0	8
	構成比	12.5%	50.0%	37.5%	0.0%	100.0%
50歳代 n=5	人数	1	2	3	1	7
	構成比	20.0%	40.0%	60.0%	20.0%	140.0%
60歳代 n=10	人数	4	3	2	3	12
	構成比	40.0%	30.0%	20.0%	30.0%	120.0%
70歳以上 n=6	人数	0	2	3	1	6
	構成比	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	100.0%
女性(計) n=53	人数	11	16	26	3	56
	構成比	20.8%	30.2%	49.1%	5.7%	105.7%
20歳代 n=3	人数	0	1	1	1	3
	構成比	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	100.0%
30歳代 n=5	人数	2	1	3	0	6
	構成比	40.0%	20.0%	60.0%	0.0%	120.0%
40歳代 n=7	人数	2	1	3	1	7
	構成比	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	100.0%
50歳代 n=21	人数	6	8	9	0	23
	構成比	28.6%	38.1%	42.9%	0.0%	109.5%
60歳代 n=9	人数	0	4	5	0	9
	構成比	0.0%	44.4%	55.6%	0.0%	100.0%
70歳以上 n=8	人数	1	1	5	1	8
	構成比	12.5%	12.5%	62.5%	12.5%	100.0%
【居住地域別】						
本庁(都心) n=9	人数	0	3	3	3	9
	構成比	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	100.0%
本庁(周辺) n=13	人数	4	2	6	1	13
	構成比	30.8%	15.4%	46.2%	7.7%	100.0%
東部地域 n=16	人数	2	4	10	1	17
	構成比	12.5%	25.0%	62.5%	6.3%	106.3%
西部地域 n=11	人数	2	4	6	1	13
	構成比	18.2%	36.4%	54.5%	9.1%	118.2%
南部地域 n=10	人数	4	4	3	0	11
	構成比	40.0%	40.0%	30.0%	0.0%	110.0%
北部地域 n=13	人数	3	5	7	0	15
	構成比	23.1%	38.5%	53.8%	0.0%	115.4%
上河内・河内地域 n=14	人数	4	6	4	1	15
	構成比	28.6%	42.9%	28.6%	7.1%	107.1%

<図IV-10-6>性・年齢別/居住地域別

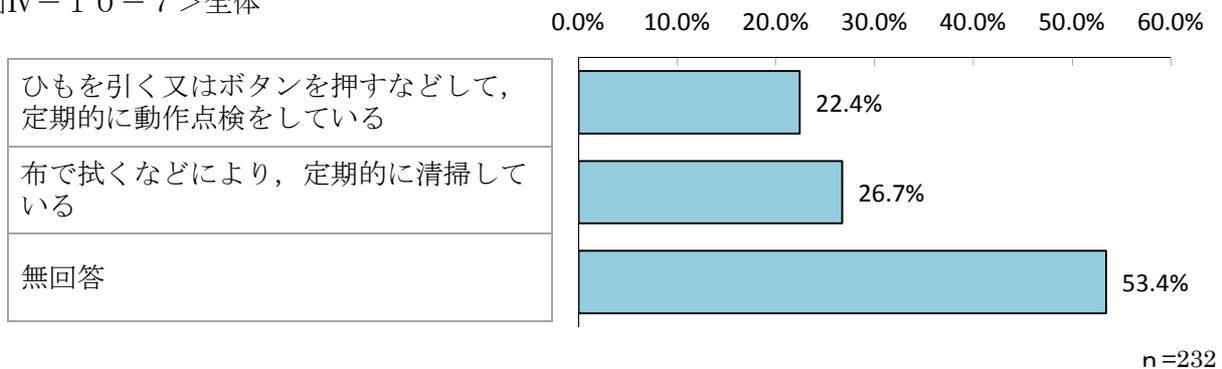


(4) 住宅用火災警報器の点検等の実施状況

◇ 「定期的に作動点検をしている」が約2割

問3 1	(問2 9で設置されている方に) 『住宅用火災警報器等』の点検等を実施していますか。(〇はいくつでも)	n=232
1	ひもを引くまたはボタンを押すなどして、定期的に作動点検をしている ※最新機種ของ多くは、電池寿命10年です。	22.4%
2	布で拭くなどにより、定期的に掃除している ※ほこりがつくと、火災を感知しにくくなります。	26.7%
	(無回答)	53.4%

<図IV-10-7>全体



『住宅用火災警報器等』の点検等を実施しているかについては、「布で拭くなどにより、定期的に掃除している」が26.7%、次いで「ひもを引くまたはボタンを押すなどして、定期的に作動点検をしている」が22.4%であった。(図IV-10-7)

性・年齢別で見ると、「ひもを引くまたはボタンを押すなどして、定期的に作動点検をしている」は<男性/50歳代>が42.9%と最も多く、次いで<男性/70歳以上>が40.9%、<男性/60歳代>が38.5%と続いている。また女性では、<女性/70歳以上>が25.0%と最も多かった。

「布で拭くなどにより、定期的に掃除している」は<男性/20歳代>が42.9%で最も多かった。

(図IV-10-8)

居住地域別で見ると、「ひもを引くまたはボタンを押すなどして、定期的に作動点検をしている」は<本庁(周辺)>が27.6%と最も多く、「布で拭くなどにより、定期的に掃除している」は<上河内・河内地域>が41.2%と最も多かった。(図IV-10-8)

【表：性・年齢別/居住地域別】

選択項目		ひもを引く又はボタンを押すなどして 定期的に動作点検をしている	布で拭くなどにより 定期的に清掃している	無回答	合計
全体 n=232	人数	52	62	124	238
	構成比	22.4%	26.7%	53.4%	102.6%
【性・年齢別】					
男性(計) n=102	人数	31	28	48	107
	構成比	30.4%	27.5%	47.1%	104.9%
20歳代 n=7	人数	1	3	3	7
	構成比	14.3%	42.9%	42.9%	100.0%
30歳代 n=17	人数	2	4	11	17
	構成比	11.8%	23.5%	64.7%	100.0%
40歳代 n=16	人数	3	3	10	16
	構成比	18.8%	18.8%	62.5%	100.0%
50歳代 n=14	人数	6	4	6	16
	構成比	42.9%	28.6%	42.9%	114.3%
60歳代 n=26	人数	10	8	10	28
	構成比	38.5%	30.8%	38.5%	107.7%
70歳以上 n=22	人数	9	6	8	23
	構成比	40.9%	27.3%	36.4%	104.5%
女性(計) n=13	人数	21	34	76	131
	構成比	16.2%	26.2%	58.5%	100.8%
20歳代 n=10	人数	0	1	9	10
	構成比	0.0%	10.0%	90.0%	100.0%
30歳代 n=27	人数	5	8	14	27
	構成比	18.5%	29.6%	51.9%	100.0%
40歳代 n=23	人数	5	5	13	23
	構成比	21.7%	21.7%	56.5%	100.0%
50歳代 n=22	人数	2	6	14	22
	構成比	9.1%	27.3%	63.6%	100.0%
60歳代 n=24	人数	3	7	14	24
	構成比	12.5%	29.2%	58.3%	100.0%
70歳以上 n=24	人数	6	7	12	25
	構成比	25.0%	29.2%	50.0%	104.2%
【居住地域別】					
本庁(都心) n=34	人数	8	6	20	34
	構成比	23.5%	17.6%	58.8%	100.0%
本庁(周辺) n=58	人数	16	15	30	61
	構成比	27.6%	25.9%	51.7%	105.2%
東部地域 n=28	人数	6	10	13	29
	構成比	21.4%	35.7%	46.4%	103.6%
西部地域 n=34	人数	6	9	20	35
	構成比	17.6%	26.5%	58.8%	102.9%
南部地域 n=28	人数	6	6	16	28
	構成比	21.4%	21.4%	57.1%	100.0%
北部地域 n=21	人数	5	6	11	22
	構成比	23.8%	28.6%	52.4%	104.8%
上河内・河内地域 n=17	人数	3	7	7	17
	構成比	17.6%	41.2%	41.2%	100.0%

<図IV-10-8>性・年齢別/居住地域別

